

大分寺婦

第24号

発行
大分教区
寺族婦人会連盟
〒874-0920
別府市北浜3丁目6-36
本願寺別府別院内
TEL 0977-22-0146

新年のご挨拶

大分教区寺族婦人会連盟 委員長 森 百合子



明けまして、おめでとうござ
います。

皆さまにはおすこやかにお念
仏相続のことと存じます。『真
宗大分』第二一九号に記載され
ていますが、親鸞聖人七五〇回
大遠忌お待ち受け法要が、九州
地区の後、教区でお勤りになり、
組でお勤めされています。聖人

の尊いみ教えをわかりやすく伝
え、また、親しみが持てるよう
に、それぞれに準備工夫をされ
た様子が感じられました。教区
や組でお手伝い下さった寺婦の
方々もいらつしやると思えます。
お疲れさまでした。

いよいよ四月になりましたら、
本願寺で大遠忌法要が始まりま
す。

寺婦の方々もできるだけ参拝
して、このご縁を門信徒の皆さ
まと共に喜び「親鸞聖人と恵信
尼さま」を、お偲びさせていた
だきたいと思えます。

坊守として、混迷の時代の中、

少しでも伝道教化のお手伝いを
させていただくことが、使命だ
と思う今日この頃でございます。
これからも寺婦連盟の活動にご
協力をよろしく願います。

● 研修総会 ●

昨年、六月十四日、四日市別
院において教区寺婦連盟総会が
行われました。

当日は、百名を超える参加が
あり、日頃の情報交換や久しぶ
りに会った人と近況報告ができ



総会議事



ご講話

たりと、和やかな雰囲気でした。
午後には、葛野洋明先生から
「浄土真宗の救いのよろこび」
『拝読 浄土真宗のみ教え』を
通して」という講題でお話を
聞かせていただきました。

「拝読」とは、一人ひとりが
仏さまの前で自ら読み、聞かせ
ていただくことである・・・限
られた時間でしたが、ご法義の
要である如来の救いについて、
ご自身の経験を交えながらの、
とても分かり易いお話でした。
特に、「浄土真宗の救いのよろ
こび」の第二句においては「こ



委員長挨拶

のよび声を聞きひらき 如来の救いにまかすとき・・・とあり、信心・現生正定聚・実除と暫除・回心皆往など、言葉の解釈を通してあらためて深く学ぶことができました。

さらに「スペシャルな話」として、普段中々口に出せないことをストレートに話して下さり、共感しながらも、時には身が引き締まる思いがしました。

この度、大遠忌を迎えるにあたり、様々な行事や出会いを通して私なりにどう勤めさせていただくか？如来の本願にまかす



たくさんの出席者！

(信心) とは？日々の暮らしの中で、お念仏をどのように受けとめているのか？等々、自分自身に問いかけながら、それに応えるべく「宗教とは、今の私がささえられているもの」「私の話として聞いていく」「本当の迷いは、自分が気付いていないことで、あれっ？と気付かされる世界がある」など、すべて阿彌陀さまのおはたらきによるく阿彌陀さまにおまかせするしかない私なのだからという思いを素直に受け止め、しっかりと味あわせていただきたいと思います。

組の活動 — 大海組 —

副委員長 水智 洋子



お 勤 め

寺族婦人は、教化活動における役割の重大な事を自覚して聞法にいそしみ、研修を重ね連絡を密にし寺院機能の充実とその発展に尽くすことを目的としています。

大海組では、会所寺院を順番に担当させていただき隔月ごとに勉強会を行っています。講義内容は、講師の先生のテキストをもとに「今一度、親鸞聖人の



ご 法 話

お心に触れさせていただきましよう。」との思いから「正信偈」の内容についてすすめています。又、一月末には、坊守報恩講を勤めさせていただき親鸞聖人のご苦勞、ご一生を偲びつつお念仏のみ教えを聴聞させていただいております。

勉強後の昼食時は、それぞれに坊守の悩み又、料理の話等で盛り上がり、つつい時間延



ちょっと休憩・・・



ご聴聞

長しなごやかな楽しい一時を過
ごしています。



仏教婦人会総会並びに研修会
献華献灯献香の様子

私たちの組では全坊守が集まっ
てという活動は、年四回となっ
ています。
毎年二月に行われる定例坊守
会で一年間の反省と次年度の計
画を立てます。
また先般、門信徒会運動協議
会にて、各教化団体の垣根を越
えコミュニケーションを取り互
いに協力し合って組全体の活動
を活性化して行こうという方針

組の活動 — 国東中組 —

副委員長 甲斐 薫子

が立てられました。

それを踏まえ、私達寺婦も組
で行われる夏の子ども会や組巡
回などにも参加し、必要に応じ
補佐役を努めています。中でも、
十月に行われる仏婦研修会では、
寺婦は協賛という形をとってい
ますので、勤行の調声や話し合
い法座のグループの中に入り進
行役を努める事などをしていま
す。

昨年も十月二十三日に香々地
の永蓮寺で仏婦研修会が盛大に
開催されました。

その様子を写真で紹介します。
ご講師の先生が「仏壇はこの
私が阿弥陀さまに出会う場所
です、どうか仏壇を中心とした生
活を送って下さい」とおっしゃ
いました。仏婦の方より、「お
花をあげたり、お仏飯を供えた
り、朝夕お仏壇の前を通る度
に手を合わせ称名念仏させて頂
く、そういう日々が大切であると気



話し合い法座
まとめの司会を努める仏婦評議委員さん

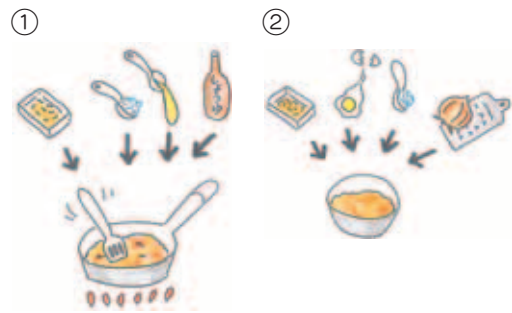


御講師 安心院西楽寺 渡邊暁晃師
講話「四苦八苦 生死いづべき道について」

づかされました」と喜びの声を
頂きました。

いわお
《巖とり》

- ★とりひき肉 ……………500g
- | | | |
|-----------|----------------|---------|
| ①半分の250gを | さとう 大2 | } でいためる |
| | みりん 大2 | |
| | しょうゆ 大3 | |
| ②残りの250gに | 卵 1こ | } まぜる |
| | 片くり粉 大2 | |
| | 玉ねぎ(すりおろし) 大2位 | |



- ③①+②をよくまぜる
④ケーキ型に入れ、オーブンで焼く
250℃で5分 / 160℃で25分



※適当な大きさに切り、冷凍保存。お弁当に冷凍のまま入れると
昼頃には食べごろになります。

《ヨーグルトソース》(ジャムにもなります)

- | | |
|----------|-------------|
| イチゴ 100g | } 耐熱ボールに入れて |
| さとう 50g | |
| レモン汁 大1 | |
- ラップをしてレンジで500W→3分20秒
⑤を参照(すき間をあけてラップをする)
レンジから出しひとまぜ→ラップなしで2分



※すき間をあけてラップをする

☆イチゴ・オレンジ(皮ごとうすく切る)・ブルーベリー・いちぢく・桃 など何でも応用出来ます。

おくやみ

平成二十二年は左記の方が
逝去されました。
謹んでお悔やみ申しあげます。

○高梨 フミ子(98歳)

深見組 円明寺 坊守
平成二十二年三月二十八日

○永蓮 冬子(99歳)

国東中組 永蓮寺 前坊守
平成二十二年五月十一日

○河野 マサゴ(97歳)

深見組 西照寺 前々坊守
平成二十二年九月十四日

あとがき

皆さま、新年を迎え如何お過
ごしでしょうか。

去年の夏の暑さは、凄いもの
があり、気候の変化も激しく、
体調を壊される人も多かったの
ではないでしょうか。

何かと厳しい一年だったと思
われます。

そんな中、私事ですが、去年
の九月十七日に四十三歳にして、
出産・男子を授かりました。娘
は弟が出来て大喜びです。

私たちが家族も心待ちにしてい
た子どもの誕生に感謝と共に命
の尊さを身を持って感じた年で
した。

お内佛報恩講のご案内

日時：二〇一一年(平成二十三年)二月五日(土)
十時四十五分〜受付

場所：本願寺別府別院「会館お内佛」(二階)

講師：流 智道先生(大野組・尊形寺)